



平成16年11月9日

各位

沢井製薬株式会社
代表取締役社長 澤井 弘行
(コード番号 4555・東証第一部)
問合せ先 常務取締役
管理本部長兼 佐藤 博之
経営効率部長
電話番号 06-6928-7071

平成17年3月期(連結・個別)中間業績予想及び通期業績予想の修正について

最近の業績動向等を踏まえ、平成17年3月期(平成16年4月1日～平成17年3月31日)の業績予想について、平成16年5月14日の前期決算発表時に公表した通期業績予想ならびに平成16年9月24日の中間業績予想の修正発表時に公表した当中間期の業績予想を下記のとおり修正いたします。

記

1. 平成17年3月期(連結)予想の修正

(1) 中間期の業績予想(平成16年4月1日～平成16年9月30日)の修正

(単位:百万円)

	売上高	経常利益	当期利益
前回予想(A)	11,470	620	30
今回修正(B)	11,192	481	61
増減額(B-A)	278	139	31
増減率	2.4%	22.4%	103.3%

(2) 通期の業績予想(平成16年4月1日～平成17年3月31日)の修正

(単位:百万円)

	売上高	経常利益	当期利益
前回予想(A)	25,300	4,430	2,420
今回修正(B)	22,825	1,940	850
増減額(B-A)	2,475	2,490	1,570
増減率	9.8%	56.2%	64.9%

(3) 修正の理由

中間期の業績修正の理由は、平成16年9月24日付中間業績予想の修正に関するお知らせのとおりであります。売上予想や売上割戻・経費・法人税等算定その他に一部見積り相違があったため、上記のとおり再修正いたします。

通期の業績予想につきましては、売上高については中間期の実績を踏まえたうえ、激しい競争下にある市場実勢や諸般の事情により新市場開拓が目先ペースダウンしている現状等を加味して、当初予想対比9.8%減の22,825百万円としました。

販売競争激化のもと目先の売上総利益率が低下しているうえ、経費面では来期以降上市予定の大型新製品の開発等で高水準の支出の続く試験研究費は別として、広告宣伝費やコントラクトMR採用費用その他の経費削減に努めて参ります。ただ、現下の市場環境や上期の実績等も踏まえて、経常利益は1,940百万円、当期純利益は850百万円と当初予想対比それぞれ56.2%減、64.9%減に修正いたします。

(4) ご参考：前期の実績（平成15年4月1日～平成16年3月31日）

(単位:百万円)

	売上高	経常利益	当期純利益
中間期(15/4～15/9)	11,201	1,949	1,117
通期(15/4～16/3)	22,548	3,638	2,281

2. 平成17年3月期（個別）予想の修正

(1) 中間期の業績予想（平成16年4月1日～平成16年9月30日）の修正

(単位:百万円)

	売上高	経常利益	当期純利益
前回予想(A)	11,150	595	5
今回修正(B)	11,051	433	47
増減額(B-A)	99	162	42
増減率	0.9%	27.2%	840.0%

(2) 通期の業績予想（平成16年4月1日～平成17年3月31日）の修正

(単位:百万円)

	売上高	経常利益	当期純利益
前回予想(A)	24,850	4,050	2,230
今回修正(B)	22,510	1,815	810
増減額(B-A)	2,340	2,235	1,420
増減率	9.4%	55.2%	63.7%

(3) 修正の理由

連結決算に記載のとおり理由で、売上高、経常利益、当期純利益とも上記のとおり修正いたします。

(4) ご参考：前期の実績（平成15年4月1日～平成16年3月31日）

(単位:百万円)

	売上高	経常利益	当期純利益
中間期(15/4～15/9)	11,007	1,661	966
通期(15/4～16/3)	22,083	3,185	2,031

以上